

<福島県教育長賞>

未来貯金

二本松市立二本松第二中学校 三年 保住 ひかる

近年国の借金がとても多くなってきていると聞いています。それにともない、税金も高くなりました。もちろん前より払うお金が増えたので良く思わない人もいます。それに加えて、世界中に税金からのがれようとする人がいます。

人間は、自分の富を貧しい人に分けあたえるのを嫌がります。みんなで分ければ楽しく暮らせるのに、いざという時意外は動こうとしないのです。しかし、みんながそういうわけではないと考えます。中には、動きたいけど動けない。そういう人もいると思います。そこで私は、税金こそみんなで出来る富を分かち合う方法だと思いました。私達の身近にあるいろんな物が税金でできています。みんなでお金を出し合って作った物だからこそ全員にそれを使う権利がある。そこに貧富の差はないのです。いや、あってはいけないのです。

私の故郷である福島は、2011年に震災におそわれました。大きく傷ついた故郷の復興はとても大変なものだったと思います。土砂の処理、崩壊した家の片づけ、放射能への対処など課題は山づみだったと思います。そんな時に助けてくれたのが国民のみんな、いや、世界中の人々でした。募金をしてくれたりボランティアをしてくれたりみんなとても優しくてうれしかったです。ボランティアにも募金にも行けなかった人たちも、国を通して税金で私たちを助けてくれました。

このように、税金にはいろんな形で私たちを助けてくれる働きがあるのです。

では税金がなくなったらどうなるのでしょうか。そんな事は誰にも分かりません。でも一つ言えるのは、その未来の私たちはあまり良い生活が出来なくなっているということです。病院・学校・警察・消防署などこれらの施設は全て税金がからんでいます。だから、税金がなくなったら私たちは、病気になったら大金を払い、知識が欲しければ金を払うか本で学び、何かトラブルがおきれば自分たちでなんとかし、火事が

おきれば自分でどうにかするかあきらめなければならなくなるのです。私にはこうな
った世界で生き残るのは無りな話です。では、このような未来をさけるにはどのよう
にすればよいのでしょうか。

今まであげた税金の使い方の例にはある共通点があります。それは税金は全て何か
しらの形で自分にかえってくるということです。税金は高くて嫌と思う人もいると思
います。でも、私たちが払った税金はかならず私のための何かになってかえってきま
す。もしかしたら、自分ではなく自分の子供や孫にかえってくるかもしれません。税
金はいわば未来貯金なのです。先人たちが考えたこの仕組みを、私たちは守り伝えて
いかないといけないのです。